

## 幾何学II 演習問題<sup>1</sup> No.5 2019年11月13日

**問題 19 (再掲<sup>2</sup>)** [Bott-Tu, Exercise 1.7]  $\mathbb{R}^2$  から相異なる 2 点を除いた空間  $\mathbb{R}^2 \setminus \{P, Q\}$  を考える.  $P$  を中心とする半径  $\epsilon$  の円を  $C_P$ ,  $Q$  を中心とする半径  $\epsilon$  の円を  $C_Q$  とする. (ただし  $P$  と  $Q$  の距離は  $3\epsilon$  より大きいとする.) 写像

$$H^1(\mathbb{R}^2 \setminus \{P, Q\}) \rightarrow \mathbb{R}^2, \quad [\omega] \mapsto \left( \int_{C_P} \omega, \int_{C_Q} \omega \right)$$

が同型であることを示せ. また  $H^1(\mathbb{R}^2 \setminus \{P, Q\})$  の基底となる閉微分形式を一組与えよ.

ヒント : Mayer-Vietoris 完全列を使う. いろいろな方法がある.

- (a)  $U = \mathbb{R}^2 \setminus \{P, Q\}$  とし,  $P, Q$  を中心とする開円盤の和を  $V = B_P \cup B_Q$  とおくと,  $\mathbb{R}^2 = U \cup V$ .
- (b) 簡単のため  $P = (-1, 0)$ ,  $Q = (1, 0)$  とおく.  $U = \{(x, y) : x < \frac{1}{2}\} \setminus \{P\}$ ,  $V = \{(x, y) : x > -\frac{1}{2}\} \setminus \{Q\}$  とすれば  $\mathbb{R}^2 \setminus \{P, Q\} = U \cup V$ .
- (c)  $U = \mathbb{R}^2 \setminus \{P\}$ ,  $V = \mathbb{R}^2 \setminus \{Q\}$  とおくと,  $U \cup V = \mathbb{R}^2$ ,  $U \cap V = \mathbb{R}^2 \setminus \{P, Q\}$ .

**問題 20**  $\mathbb{R}^3 \setminus \{0\}$  の通常のコホモロジーとコンパクト台コホモロジーを調べよう.

- (1)  $\mathbb{R}^3 \setminus \{0\}$  は  $S^2 \times \mathbb{R}$  と微分同相であることを示せ.
- (2) 授業では  $S^2$  のコホモロジーを求めた. その計算結果を使って,  $H^*(\mathbb{R}^3 \setminus \{0\})$  および  $H_c^*(\mathbb{R}^3 \setminus \{0\})$  を求めよ.
- (3) 次の 3 つの写像  $I_1, I_2, I_3$  が同型であることを示せ.

$$\begin{aligned} I_1: H^2(\mathbb{R}^3 \setminus \{0\}) &\rightarrow \mathbb{R}, & [\omega] &\mapsto \int_{S^2} \omega \\ I_2: H_c^1(\mathbb{R}^3 \setminus \{0\}) &\rightarrow \mathbb{R}, & [\omega] &\mapsto \int_R \omega \\ I_3: H_c^3(\mathbb{R}^3 \setminus \{0\}) &\rightarrow \mathbb{R}, & [\omega] &\mapsto \int_{\mathbb{R}^3 \setminus \{0\}} \omega \end{aligned}$$

ただし  $R$  は  $\{(x, 0, 0) : x > 0\}$  で与えられる半直線とする.

**問題 21** [コンパクト台コホモロジーに対する Poincaré の補題, Bott-Tu, Chapter I, Section 4] 多様体  $M$  に対して, 次の同型写像がある

$$e_*: H_c^*(M) \xrightarrow{\cong} H_c^{*+1}(M \times \mathbb{R}): \pi_*$$

<sup>1</sup>問題及び解答は <https://www.math.kyoto-u.ac.jp/~iritani/teaching2019KikaII.htm> に順次掲載される.

<sup>2</sup>まだ復習していない人はやってみよう.

ここで同型写像  $\pi_*, e_*$  は次のように与えられる.  $\pi: M \times \mathbb{R} \rightarrow M$  は射影であり,  $\pi$  に関する “integration along the fiber” 写像  $\pi_*: \Omega_c^*(M \times \mathbb{R}) \rightarrow \Omega_c^{*-1}(M)$  は  $M$  の局所座標  $\{x_i\}$  を使って

$$\begin{aligned} f(x, t) dx_I &\mapsto 0 \\ f(x, t) dt \wedge dx_I &\mapsto \left( \int_{-\infty}^{\infty} f(x, t) dt \right) dx_I \end{aligned}$$

と定義する. また  $\int_{-\infty}^{\infty} e(t) dt = 1$  なるコンパクト台の  $C^\infty$  級関数  $e(t) \in C_c^\infty(\mathbb{R})$  を選び, 写像  $e_*: \Omega_c^*(M) \rightarrow \Omega_c^{*+1}(M \times \mathbb{R})$  を

$$e_*(\omega) = e \wedge \pi^* \omega$$

と定義する. ただし  $e = e(t) dt$ .  $\pi_*$  と  $e_*$  が互いに逆写像であることを証明しよう.

- (1)  $d\pi_* = -\pi_* d$ ,  $de_* = -e_* d$  を示せ. (これより,  $\pi_*, e_*$  はコホモロジーの間の写像を誘導する.)
- (2)  $\pi_* e_* = 1$  を示せ.
- (3) 写像  $K: \Omega_c^p(M \times \mathbb{R}) \rightarrow \Omega_c^{p-1}(M \times \mathbb{R})$  を

$$\begin{aligned} f(x, t) dx_I &\mapsto 0 \\ f(x, t) dt \wedge dx_I &\mapsto \left( \int_{-\infty}^t f(x, s) ds - A(t) \int_{-\infty}^{\infty} f(x, s) ds \right) dx_I \end{aligned}$$

と定義する. ただし  $A(t) = \int_{-\infty}^t e(s) ds$  である. このとき,  $K$  は  $1$  と  $e_* \pi_*$  の間のチェインホモトピーであること, つまり,  $1 - e_* \pi_* = Kd + dK$  が成り立つことを示せ.

**問題 22** [Bott-Tu, Exercise 4.8] メビウスの帯  $M = [0, 1] \times \mathbb{R} / (0, x) \sim (1, -x)$  のコホモロジー  $H^*(M)$  及びコンパクト台コホモロジー  $H_c^*(M)$  を求めよ.

**問題 23**  $\mathbb{R}^2$  の開集合  $X = \mathbb{R}^2 \setminus (\{(0, 0)\} \cup \{(\frac{1}{n}, 0) : n = 1, 2, 3, \dots\})$  のコホモロジー  $H^*(X)$  およびコンパクト台コホモロジー  $H_c^*(X)$  を求めよ.